

世田谷の元気な産業が見えてくる

せたがや エコノミックス

TAKE FREE

No.47
SETAGAYA ECONOmix

平成30年(2018年)6月15日

特集

世田谷発のビジネス構築に挑戦する 玉川繊維工業所

TOPICS

世田谷区産業ビジョン及び産業振興計画を策定しました
人材の採用と定着を応援します！／マル経融資のご案内



世田谷
いいところ、
見つけた

世田谷発の ビジネス構築に挑戦する 玉川繊維工業所

新たな事業への挑戦で 「勇気ある経営大賞・奨励賞」を受賞

東京商工会議所が、高い障壁を恐れず理想の追求を行う企業を顕彰する「勇気ある経営大賞」。その第15回で奨励賞に選出された玉川繊維工業所は、世田谷に本社を構え続けて95年という歴史ある企業です。

受賞の大きな理由は「BtoC事業」への挑戦。先輩たちが築いた「信頼関係」を強みに大手電鉄関連企業や官公庁を得意先としているなか、2013年から開始した個人向けリネンサプライサービス事業が高い評価を受けました。発想の原点は「地域への恩返し」という関口会長。「歳をとって自分のベッドメイキングや洗濯が面倒になってきたとき、もしかしたら皆様も同じではないか」と考えたそう。区内でも高齢者や単身世帯が増えるなか、お年寄りや一人住まいの方も清潔なシーツやカバーに包まれて「しあわせ」を感じて欲しい、また、定期的に届けることで元気な姿も確認できると事業化へ踏みきったそうです。



玉川繊維工業所 会長の関口雅章さん



女子サッカーなどリーグの「スフィダ世田谷FC」も支援中



多くの従業員が参加して作られる社内報



昭和30年代の雑誌に掲載された創業者・関口りかさんの立志伝
勇気ある経営はこうした創業者から受け継がれている



「人を大切にする」という社訓から工場の労働環境改善にも積極的に取り組む

世田谷から新たなビジネスを発信

そうして一つの形としてできたのが「家庭向け訪問ベッドメイクサービス」です。開始時はホテルに準ずる贅沢なサービスのみを想定していたそうですが、お客様の声を取り入れながらバリエーションを増やし、最近はメイキングを省いて洗いたてのシーツやカバーと交換するだけのサービスが伸びているほか、清掃業者とコラボレーションした事業も展開されています。

「まだ世の中に無いものを創造・提案し、気がついた人・良さを感じた人から利用していただきたい」という関口会長は、誰もやっている人がいないことも、この事業の魅力と捉えており「いずれは世田谷発のビジネスとして成長させたい」と目標を語ってくださいました。

「シーツは所有ではなく利用することに価値がある」多くの人が納得できる言葉です。モノ消費からコト消費へという大きな流れのなかで、ホテルのようなリネンサプライサービスを自宅で利用するライフスタイルが、世田谷から発信されています。

株式会社 玉川繊維工業所
松原3-40-7 バインフィールドビル6階
TEL:03-3327-1111
<http://www.tamasen.co.jp>